

# 2026年1月の星空

## 中旬 21時頃



### ★ 今月の天文現象とこよみ

- 1 日 元旦
- 3 日 満月
- 4 日 しぶんぎ座流星群極大
- 5 日 小寒（しょうかん）
- 7 日 レグルス食（九州北部以北）
- 10 日 木星が衝となり観察好期
- 11 日 下弦の月
- 12 日 成人の日
- 17 日 土用
- 19 日 新月
- 20 日 大寒（だいかん）
- 26 日 上弦の月

太陽系最大の惑星である木星が、観察の好期を迎え東の空高く圧倒的な明るさで輝きます。2026 年は、6 月初めまで日没後の空で観察できます。

#### M45 すばる

おうし座の肩のあたりにある星団です。肉眼で 6 ～ 7 個の星が集まって見える場所です。双眼鏡、望遠鏡ではさらにたくさんの星が見える美しい星団です。

#### カペラ

ぎょしゃ座の一等星で、北東の空高くで、明るく輝いています。冬の星座たちの中で最初に顔を出す一等星です。

#### アルデバラン

おうし座の右目のところに位置する赤い色をした一等星です。周囲は、大型の散開星団ヒヤデスの星々ににぎやかです。

#### 木星

おひつじ座で -2.5 等の明るさで輝きます。望遠鏡では、4 つのガリレオ衛星や縞模様を観察できます。

秋の星座は西に大きく傾き、冬の主役の星々が夜空を飾ります。天頂付近には すばる（プレヤデス星団）があり、肉眼や双眼鏡でも楽しめます。南東の空高く、オリオン座と冬の大きな三角が目立つので、星座をさがす起点としましょう。大きな三角を作る星のひとつおおいて座のシリウスは、全天でもっとも明るい恒星で、平均的な一等星の 10 倍も明るく輝きます。オリオン座の赤い一等星ベテルギウスは、超巨星として知られています。

- ★ 1 等星
- 2 等星
- 3 等星
- 4 等星